

研究内容の概要

<input type="checkbox"/> 介入研究（医薬品・医療機器を使用する） <input type="checkbox"/> 介入研究（医薬品・医療機器を使用しない） <input checked="" type="checkbox"/> 観察研究 <input type="checkbox"/> ヒトゲノム・遺伝子解析研究 <input type="checkbox"/> その他()	
研究課題名	HRGの検体採取法の確立のための臨床研究
責任者所属・氏名	所 属：岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 生体制御科学専攻生体機能制御学講座 麻酔・蘇生学分野 責 任 者 名：森松 博史
使用する医薬品 医療機器等	<input type="checkbox"/> 使用あり <input checked="" type="checkbox"/> 使用なし 本研究対象疾患に対する薬事承認 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> その他() 保険適応 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> その他()
侵襲の有無	<input type="checkbox"/> 侵襲あり <input checked="" type="checkbox"/> 軽微な侵襲あり <input type="checkbox"/> 侵襲なし 侵襲あり（軽微な侵襲を含む）と判断した理由を記載して下さい。 （日常的な検査に追加して採血（最大22mL, 1回のみ）を行うため）
介入の有無	<input type="checkbox"/> 介入あり <input checked="" type="checkbox"/> 介入なし
1) 研究内容 <input type="checkbox"/> 岡大単独研究 <input checked="" type="checkbox"/> 多施設共同研究 <input checked="" type="checkbox"/> 岡大主管 <input type="checkbox"/> 他施設主管に共同研究機関として参加する <input type="checkbox"/> 岡大は試料・情報を提供するのみで、共同研究機関には入らない。	
2) 研究について（研究の意義・目的，方法，企業からの資金を用いるか・将来を含めて特許権及び経済的利益を生み出すか等について簡明にご記載下さい）〔400字程度〕 敗血症は依然として死亡率が非常に高い重篤な病態であるが，検査法や治療法として確立されたものは僅かである。Histidine-Rich Glycoprotein (HRG)は主に肝臓で産生される糖タンパク質である。我々は，マウスの敗血症モデルで敗血症時の臓器障害発生機序を解析して，起点となる血漿 HRG 値の低下を突きとめ，補充的に HRG をマウスに静注して臓器障害ならびに生存率が著明に改善することを明らかにした。更に臨床研究として，岡山大学病院 ICU でヒト SIRS 患者の HRG 値を測定・分析した。HRG は敗血症診断において既存のバイオマーカーであるプロカルシトニンやプレセプシンよりも精度が高く，敗血症の予後予測において世界的に用いられている多くのパラメータから計算するスコアリングシステムと同等であった。 HRG が敗血症の診断・重症度マーカーとして確立すれば，重症敗血症患者を選別してより迅速かつ効率的な集中治療が可能となり，生存率の改善や更には医療コストの削減に大きく寄与できる。本研究に関連して基幹部の特許は取得しており，今後は別途の研究も含めた総合的な結果により，新たな特許を申請できる可能性がある。また，将来的に新規敗血症治療法として HRG を補充することで，抗炎症薬やステロイドとは全く異なる作用機序により敗血症誘発多臓器不全の発生を抑えて，死亡率を低下させる可能性がある。本研究費用は，塩野義製薬株式会社から資金提供を受けて実施する。	
3) 試料・情報について <input checked="" type="checkbox"/> 試料を用いる <input type="checkbox"/> 試料を用いない 試料を用いる場合 <input type="checkbox"/> 試料の採取は，研究対象者自身の疾病の診断・治療に必要な検査等を実施する際に付随的に行うのではなく，本研究を実施するためだけに行う。 <input checked="" type="checkbox"/> 試料の採取は，研究対象者自身の疾病の診断・治療に必要な検査等を実施する際に，研究に使用する量を増量して行う。 <input type="checkbox"/> 既存試料を用いる。 <input checked="" type="checkbox"/> 情報を用いる <input type="checkbox"/> 情報を用いない <input checked="" type="checkbox"/> 既存情報以外も用いる <input type="checkbox"/> 既存情報のみ用いる <input type="checkbox"/> 試料を組織・細胞・遺伝子バンク等へ登録する <input checked="" type="checkbox"/> 登録しない	
4) 対象疾患及び研究対象者	

